

無料

1月の上映会

「第11作 男はつらいよ 寅次郎忘れな草」

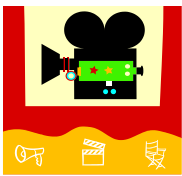
1973年(松竹) 上映時間99分

●1月10日(木)14:00~(開場13:45)

●生涯学習センターホールフラット(中央町2-6-23)

監督 山田洋次

出演 渥美清 倍賞千恵子 浅丘ルリ子 織本順吉 毒蝮三太夫



満男のためにピアノが欲しいという、さくらの願いを叶えるべく寅さんが奔走して手にいれてきたのは玩具のピアノだった。結局、それが大騒動へと発展し、北海道へ旅立った寅さんは、旅回りの歌手・リリー(浅丘ルリ子)と出会う。浮草稼業のリリーは、寅さんと意気投合。

寅さんは地道に生きようと、酪農家で働くが三日と持たずに柴又へ帰ってくる。そこへリリーが訪ねて来て、寅さんとの再会を喜び合うが、何やら訳あり風の二人に周囲の目は……

お待ちしております！



●この上映会は、子どもさんや若いお母さんをはじめ、中高年の方々が「気楽に遊んで楽しむ場所を提供する」ことを目的に設立された“のびのびうさぎ”という任意団体が企画したものです。

2月は「アメリ」フランス映画の予定です



—お問い合わせ—

代表 山本真理子

山本携帯: 090-1056-9986

(Tel&Fax: 042-472-8732)

メ-ル: marippe@r3.dion.ne.jp

—「のびのびうさぎ」の活動の様子をご覧ください—

★のびのびうさぎのブログ「うさぎの茶の間日記」

<http://blog.goo.ne.jp/nobinobiusagi2014>

★東久留米のふれあい情報サイト「くるくるチャンネル」

<http://kuru-chan.com/blog/2013/03/04/0436nobinobiusagi/>



四方山話

第36回(2018.12)

～お歳暮～



今年も早いもので、あとひと月足らずになってきました。クリスマスソングが聞こえてきたり、年末商戦の掛け声も大きくなってきています。慌ただしさが増じてきていますが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか？

さて、年の瀬となると、お歳暮のことが気になる方もいらっしゃるのではないかと思います。我が家では、お歳暮の担当は家内なのです。毎年「何にしようか？」と悩んでいます。若い頃から長年お付き合いいただいている方々に一年無事に過ごさせていただいた心ばかりのお印にと思って、毎年お贈りしています。ところで、「お歳暮」はいつ頃から始まった習慣なん

でしょうか？ちょっと調べてみました。もともとのルーツは、中国にあるのだそうです。1月15日を上元、7月15日を中元、10月15日を下元といって、天の神様をお祭りする日としていたのだそうです。これに、日本古来のお盆というご先祖を供養する行事が混じって定着したのが「お歳暮」と「お中元」ということです。

日本で「お歳暮」が始まったのは室町時代だそうで、その後、江戸時代には一般的な風習として全国に広まり、明治30年頃に現在のようになつたのだそうです。神様、ご先祖様への思いと、日ごろからお世話になっている方々への感謝の気持ちを添えて、お贈りしたいものですね。

今年も一年“のびのびうさぎ”の活動においでいただき、ありがとうございました。来年もよろしくお願ひいたします。少し早いですが、良いお年をお迎えくださいますように。



社会福祉協議会にボランティア団体として登録し活動しています